

乳児・クラスの様子 (1月号)

ひよこ組

今月の目標:生活のリズムを整え、保育士や友達と一緒に音楽や手遊び・ごっこ遊びを楽しむ。

新年明けましておめでとうございます。ひよこ組では、去年の後半から登園時の「朝のお支度」を子どもたちが「自分で」出来るように伝えています。保育士が側で見守り、声を掛けながら連絡帳やエプロンなどを毎日同じ順番でカゴに入れ、最後は手拭きタオルを自分で掛けて、自分のオムツをオムツカゴまで持ってきてくれる子もいます。今後も保育園での生活の中で、毎日同じ手順を繰り返すことで、基本的な生活習慣を少しずつ身につけていきたいと思います。これからますます寒さが厳しくなりますが、室内の加湿や換気をして、快適に過ごせるように留意したいと思います。

今月も新しいお友達が加わります。☆いながき そらくん☆です。よろしくお願いします。

(山田)



りす組

今月の目標 : さまざまな活動を通して、友達とのつながりを深める。

近くの消防署にみんなで行きました。「消防車あった～～」「救急車あった～～」と、どの子も大喜びで、消防署の方が優しく対応してくださり、実際に乗せてもらいました。良い経験になりました。



(三鬼)

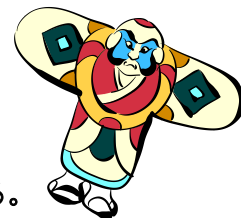
うさぎ組

今月の目標 : 絵本や紙芝居を見たり聞いたりし、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ。

2014年がスタートし、うさぎ組での生活も残り3カ月となりました。来月には、いよいよ保育園で一番大きな行事、お遊戯会があります。今まで遊びの中で取り組んできた電車ごっこをお遊戯会につなげていこうと、子ども達と少しずつ小道具作りや練習を始めています。以前、園庭で大きな段ボールに絵の具で色塗りをした時は、「これは何? 電車? トンネル?」と子ども達は電車に関連した物を思い浮かべ、想像する姿が見られました。お散歩先では、牛乳パックで作った電車を探す、電車探し(宝探し)を楽しみ、見つけた時の喜びをみんなで共有しました。又地域の方から「頑張っていてね!」と優しく声を掛けてもらう事もありました。電車ごっこを始めてから、「今日はどんな事をするのかな?」「明日も続きをするのかな?」と保育園を楽しみに登園する子ども達の姿が見られるのと同時に子ども達の期待が高まっているのを感じ、とても嬉しく思っています。



(坂)



くぬぎ組

今月の目標 : 寒さに負けない、強い体作りをする。
: 歌やダンスを通して自分の思いを表現する。

12月にはクリスマスの飾りを製作しました。マカロニや廃材など、色々な素材を用意したので子ども達も「これ何になるの?」とわくわくしたり、興味をもったりと自分達から製作に関わろうとする姿があり、嬉しく思いました。

お遊戯会の練習も始まりました。劇ではセリフを覚えた年長さんが、年少、年中さんに教えてあげたり、ダンスでも私たちの姿を見て、同じように年少さんの手を持ち、「こうだよ!」と優しく振り付けを教えてくれたりと年長さんがとても頼もしく感じました。こうやって大きい子の姿を「見て・真似て・学ぶ」環境の大切さを強く感じました。

劇もダンスもにこにこ笑顔で練習が出来ているので、お遊戯会に向け楽しく頑張っていきたいと思えます。

(片岡)

とちのき組

今月の目標 : 友だちとの関わりを深めながら、おゆうぎ会の練習に楽しんで取り組む。

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月はおゆうぎ会に向けた活動の多いヶ月となりました。とちのき組では、子ども達の大好きな歌に乗せた劇「あわてんぼうくんのおはなし」と、ダンス「ココナッツ」の二つから、自分がやりたい方を選び、練習に取り組んでいます。年長児のかけ声に合わせてセリフを言ったり、難しい振り付けを年長児が年少、年中児に優しく教えたりと、練習の中でも異年齢の関わりが見られました。劇の練習では、年少児が年長児の方を見てセリフを言う姿がとても印象的で、4月から今まで築き上げてきた信頼関係があってこそその姿だなと感じました。このような姿を大切にしながら、2月のおゆうぎ会当日まで、子ども達と一緒に楽しんで練習に取り組んでいきたいと思えます。

(黒宮)



さくら組

今月の目標 : おゆうぎ会に向けて気持ちを高め、楽しんで練習に取り組む。

2月のおゆうぎ会に向けての練習が始まり、子どもたちはセリフを覚えたり歌をうたったりと、一生懸命練習しています。遊びの中でも「ビビデ・バビデ・ブー!」と魔法を掛けあっている様子が見られ、楽しんで練習に取り組んでいます。

また、12月のクリスマス製作では、画用紙を使ってサンタやトナカイを作り部屋に飾りました。自分たちで考えながら作ってみたり年長児が年中・年少児に教えてくれる様子も見られ、異年齢ならではのあたたかい雰囲気の中で、製作することができました。ハサミやのりの使い方もだんだん上手になり、これからもいろんな物を作る機会を増やしていけたらと思います。

(平塚)